

科学の実験 心震える 阿蘇市でフェス



空気の振動でグラスを割る実験に興味深そうに見入る子どもら＝阿蘇市

阿蘇市の国立阿蘇青少年交流の家で2日、「科学とものづくりの体験フェスティバル」があり、大勢の親子連れらが多彩な実験や体験を楽しんだ。

熊本地震で利用者が減少したため、施設のPRをしようと昨年に続き開催。阿蘇火山博物館や大学の研究室、アウトドアショップなど13団体がブースを設けた。

熊本高专熊本キャンパス（合志市）は静電気発生や空気の振動でグラスを割る実験をショー仕立てで見せ、子どもたちを喜ばせた。

LEDのミニ電光掲示板作りに臨んだ熊本市東区の健軍小3年、岡村泰験君は「すごく面白かった。科学がますます好きになった」と笑顔だった。

早朝には、熱気球の搭乗体験もあり、小学生ら約60人が参加した。交流の家の利用者は本年度、3年ぶりに10万人を越す見込みという。（岡本幸浩）